

レジメン名	診療科
<b>DRd</b>	<b>血液内科</b>

適応疾患
<b>多発性骨髄腫</b>

1クール	28日間
総クール	奏効中継続
休薬期間	6日間

	投与量(mg/m <sup>2</sup> )	投与日 (d1~d5、d1、d8等で記入)
ダラツムマブ	16mg/kg	d1, 8, 15, 22 (1~2クール) d1, 15 (3~6クール) d1 (7クール以降)

内服併用薬	投与量(mg/日)	用法	投与日(d1~d5, d1, d8等)
レブラミド	25mg	分1寝る前	d1-21
レナデックス	20mg	分1朝食後	d2, 9, 16, 23 (1-2クール) d2, 16 (3-6クール) d2 (7クール以降)
レナデックス	40mg	分1~2	d8, 22 (3-6クール), d8, 15, 22 (7クール以降)
アセトアミノフェン	900mg	ダラツレックス投与 30分前	d1, 8, 15, 22 (1~2クール) d1, 15 (3~6クール) d1 (7クール以降)
ポララミン	4mg		

処方 (輸液・プレメジ・ポストメジを含む)

番号	薬剤名・用量(mg/m <sup>2</sup> )	投与方法	投与速度	投与日(d1~5等)
①	デキサート20mg + 生食100mL	DIV	60分	d1, 8, 15, 22 (1~2クール) d1, 15 (3~6クール) d1 (7クール以降)
②	生食 50mL (フラッシュ用)	DIV	10分	
③	ダラザレックス16mg/kg + 生食 (対応量)	DIV	下記参照	
④	生食 50mL (フラッシュ用)	DIV	10分	
⑤				

備考 (減量・中止の基準を記載してください)

- 慢性閉塞性肺疾患もしくは気管支喘息の既往歴のある患者には  
気管支拡張薬及び吸入ステロイド薬の投与を考慮すること
- 必要に応じてDay1にプラナルカスト10mg、またはその同等品を経口投与すること
- 75歳を超える高齢者、又はBMI:18.5kg/m<sup>2</sup>未満の患者にはデキサメタゾン20mg/週で投与可  
(その場合、レナデックス内服を中止しデキサート点滴のみとする)

【ダラザレックス投与速度指示】

● 初回投与・2回目投与

50mL/Hrで開始。1時間毎に50mL/Hrずつ上げ、最大200mL/Hrまで上げることができる

● 3回目以降

初回・2回目投与時にinfusion reactionが認められなかった場合、

100mL/Hrで開始。1時間毎に50mL/Hrずつ上げ、最大200mL/Hrまで上げることができる